

## 6 学習指導案

( 数学 I ) 学 習 指 導 案					
日 時	平成 26年 5月 28日 ( 水 ) 第 4 限				
学年・組	1年1・2組B講座	教室	34番教室	指導者	藤原 治永
単 元	第1章 数と式		教科書	新編数学 I (東京書籍)	
指導目標	1 不等式の解の意味や不等式の性質について理解させる。 2 一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用できるようにさせる。	指導計画	1 式の計算・・・・・・・・・・10時間 2 実数・・・・・・・・・・8時間 3 一次不等式・・・・・・・・・・6時間 (本時はその5時間目)		
本時の主題	絶対値記号を含む方程式・不等式				
前時の課題	事前に課題プリントを解いておく。				
目標	数直線上における距離が絶対値を用いて表すことを利用して、絶対値記号を含む簡単な方程式・不等式が解けるようにする。さらに、式のみで解けるようにする。				
指 導 過 程	学 習 活 動	時間	指導上の留意事項	評価規準・資料・教具等	
	(導入) 1 課題プリントの確認をする。 2 本時の目標の確認をする。	5	・ 机間指導により課題を確認する。	[評] 不等式の解を求めることが正しくできているか。 (関心・意欲・態度)	
	(展開) 1 実数の絶対値の復習をする。	5	・ 絶対値記号の外し方について確認する。	[評] 絶対値記号の外し方が理解できたか。 (数学的な見方や考え方)	
	2 方程式 $ x =2$ を解く方法を復習する。	5	・ 平方根を求める問題と間違わないようにさせる。	・ プロジェクター ・ パソコン	
	3 方程式 $ x-3 =2$ を解く方法を学び、次の方程式を解く。 (1) $ x-2 =4$ (2) $ x+7 =3$	10	・ $ x-3 $ が2点B(x), A(3)間の距離ABを表すことを理解させる。		
	4 絶対値の付いた不等式の解法について学ぶ。 (1) $ x <2$ (2) $ x >2$ (3) $ x-3 <2$ (4) $ x-3 >2$	10	・ 不等号を等号に変えた方程式を解くことにより、境界を捉えさせる。	[評] 絶対値が距離を表すことを利用できているか。(知識・理解)	
	5 数式の操作のみで解ける解法について学ぶ。	10	・ 絶対値記号の中の式を一つのものに見なして処理することに気付かせる。	[評] 絶対値記号を含む方程式・不等式の解法を理解できたか。 (数学的な技能)	
(整理・課題) 1 本時のまとめをする。 2 次時の学習内容の確認をする。	5	・ 本時の学習内容を確認させる。	[評] 本時の内容が理解できたか。(知識・理解)		
次時の課題	教科書P.38の問2, P.39の問3を解いてくる。				
備 考	普通科B講座 生徒数 15名 (男子 9名、女子 6名)				